2026年８月５日

各　位

会社名　　玉井商船株式会社
代表者名　　代表取締役社長　清崎　哲也
（東証スタンダード・コード9127）
ＵＲＬ　　https://www.tamaiship.co.jp
問合せ先　　取締役経理部長　池埜　大輔
ＴＥＬ　　０３（５４３９）０２６０

業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2026年５月14日に公表した2027年３月期第２四半期（中間期）と通期の連結業績予想を修正いたしました。また、2027年３月期の配当予想につきましても修正いたしましたので下記の通りお知らせいたします。

記

１．2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想の修正（2026年４月１日～2026年９月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
前回発表予想（Ａ）	2,600	160	160	60	39円22銭
今回修正予想（Ｂ）	2,700	510	530	320	209円15銭
増減額（Ｂ－Ａ）	100	350	370	260	
増減率（％）	3.8%	218.8%	231.3%	433.3%	
（ご参考）前期第２四半期実績（2026年３月期第２四半期）	2,473	124	47	70	36円51銭

（注）前期第２四半期実績は、会計方針の変更に伴い遡及修正が行われたため、遡及修正後の前期第２四半期数値として記載しております。

２．2027年３月期通期連結業績予想値の修正（2026年４月１日～2027年３月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（Ａ）	5,600	560	560	330	215円69銭
今回発表予想（Ｂ）	5,700	820	840	560	366円02銭
増減額（Ｂ－Ａ）	100	260	280	230	
増減率（％）	1.8%	46.4%	50.0%	69.7%	
（ご参考）前期連結実績（2026年３月期）	5,122	685	670	801	418円98銭

（注）前期連結実績は、会計方針の変更に伴い遡及修正が行われたため、遡及修正後の前期連結数値として記載しております。

・修正理由

当第１四半期において、長引く中東情勢の影響等により海運市況やパナマ運河通峡に影響が生じ、当社においても、運航計画の見直しを余儀なくされました。

このような状況下、より効率的な配船を実施し貨物輸送から短期貸船の割合が増加し、当初予想の海運市況より高い水準のマーケットを享受できました。また、為替レートも 150 円を予想しておりましたが、実績 159.37 円で推移したため利益増大要因となりました。

第２四半期においても、第１四半期からの大きな変動は見込まれない為、上記のとおり中間期の連結業績予想を見直します。

また、下期につきましては、中東情勢をはじめとする海運市況や燃料油価格、為替レートなど不透明な経営環境にありますが、当初の予算を踏襲し、中間期において上方修正する影響で通期の連結業績予想も上記のとおり見直します。

なお、第２四半期以降の為替レート及び燃料油価格は下記の通り想定しております。

	前回予想 (2026年５月14日公表)	今回予想 (2026年８月５日公表)	
	第２四半期以降	第２四半期	第３四半期以降
期中平均為替レート	1US$=150円	1US$=157円	1US$=155円
予想燃料油価格	US$700/MT	US$700/MT	US$700/MT

３．2027 年３月期配当予想の修正

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2026年５月14日発表)	―	40.00	―	40.00	80.00
今回発表予想	―	40.00	―	70.00	110.00
当期実績	―				
前期実績 （2026年３月期）	―	―	―	125.00	125.00

・修正理由

当社は、持続的な成長投資と株主還元の両立を図るため、通期の親会社株主に帰属する当期純利益に対する連結配当性向 30%以上（年間配当金下限設定額：１株当たり 80 円）とし、業績連動と安定配当を組み合わせた還元を基本方針としております。

2027 年３月期の配当予想につきましては、前述の 2027 年３月期通期連結業績予想値と当社の還元方針に基づき、連結配当性向 30%以上の１株当たり配当予想金額（109.81 円以上）が年間配当金下限設定額である１株当たり 80 円を超えることから、年間の１株当たり配当予想金額を 110 円に修正しております。

当社としては、引き続き業績の向上に向けて努力すると共に、今後の利益水準、財政状態及び株主還元策を総合的に勘案し、１株当たりの配当金を決定する予定です。

（注）上記業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以　上